

令和6年度 第1回 城北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月25日（木） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子  
中川 智博、清水 裕人、紙上 理恵、森 聖子、高田あゆみ
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 大野木 龍太郎（静岡大学） 井下 俊輔（青少年の家）  
河西 博昭（高台協働センター） 鈴木 皓介（高台協働センター）
- 6 学 校 土屋 憲司（校長）、小嶋 澄華（教頭）、藤井 智之（生徒指導）  
中村 朝実（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 議長の選出  
司会から、議長の選出について意見を求めたところ、川嶋委員より岩井会長を推薦する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。
- 10 協議事項
  - （1）学校運営の基本方針について  
「やさしさ」を形にするために
  - （2）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について
  - （3）いじめ防止等のための基本的な方針
- 11 会議記録  
司会の小嶋教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。  
  
（1）学校運営の基本方針について  
・「やさしさ」を形にするために  
校長より学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。  
・これからの城北小が楽しみだと思った。1人1人の気持ちを大切にしていこうというのが、感じられた。今まで子供や保護者から上がった相談はロールプレイというか、どれぐらいの頻度で話し合うのか？（森委員）  
→学校は様々な校内研修がある。どう充実していくか、もっと先生達の話し合いを活性化して、学校全体で話し合う機会を作っていきたい。学年主任が集まり話す場もある。共通理解を作り、学年に下ろしていく。（校長）  
・三者面談は一方通行になる。1人の先生が受け止めているのか。先生同士で共有できているのか。（森委員）  
→生徒指導の会議で話し合ったり、面談も学年主任へ上がるようになっている。（校長）  
・「令和の日本型学校教育」？質って何？分からない人、読めない人もたくさんいるのも知ってほしい。学校はまとまらない文章が多く分かりにくい。今の学校の先生は自分で考えて進めていくのはとても大変。発言も気にしないといけないだろうが、もっと本音でしゃべれたらいいな。（川嶋委員）

- ・日本の教育含め、国民に対する発信が難しすぎる。「令和の日本型学校教育」は日本の教育を変えていかないとこの先、生き残れないよという変化の時。
- ・子供たちの5つのめあてはとても大切。これを地域に持って行って共有していくと全体がもっと盛り上がっていくと思う。(中川勝夫委員)
- ・5つのめあての「みんなの目」→「わたしの目」でも良いと思う。人間って最終的にここを鍛えないとだめだと感じた。(岩井会長)
- ・夏の居場所作りで委員の皆さんがやってくれているのが、5つのめあてを育てていると思う。職員の平均年齢が下がったのでは？チャレンジしていくパワーや活力は若い方の方があると思うから良いと思う。(中川智博委員)
- ・これを守ろう！ではなく、これを元に考えていってどうしたいか？とつながると良い。(校長)
- ・合言葉は浸透している。教員も一緒になって、子供たちとお互いの理解になる。決めるのではなく「どうかな？」とよりどころにしたい。(教頭)
- ・学校教育目標をどう作るか。言葉が難しいのは、目指す学校像と一緒に造っていく段階で、校長が1人で作るのではなく、子供に聞きながら子供と作っていく。1人1人意見を持っている人間として認めて、地域の人とみんなで作っていくんだよとなれば、難しい言葉が並んでいて分からないは無くなると思う。(大野木さん)
- ・めあての「目、口、耳、手足、心」障がいのある方から見たらどうなのか。(河西さん)
- ・夏休み中も少しでも学校に関わってくれたら、1ヶ月学校が休みでも新学期行くのが嫌な所にならないと思う。これからも居場所を作りたい。親御さんが理解してくれて一緒に来て、新学期につなげたい。(川嶋委員)

協議の結果、全員異議なく、承認された。

## (2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

教頭より夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議無く承認された。

## (3) いじめ防止等のための基本的な方針

校長よりいじめ防止等のための基本的な方針について説明があった。

## その他報告事項等

### (1) 城北小サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画

教頭より城北小サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画について説明があった。

学校支援CDよりサポーターの方達へお礼や、学校とのつながりを作りたいとの話があり、委員からは以下の発言があった。

- ・何かあげるのも良い。子供たちの感想を書いて渡す。チラシに載せてあげると自分たちがやったことを喜んでくれていると思える。(川嶋委員)
- ・学校に協力することに対しての対価性は必要になってくる。学校に呼んだり、何かあげるなど。自己肯定感は大人でもほしい。(中川智博委員)

## その他連絡

次回の運営協議会は6月6日(木)14時30分～16時00分、城北小学校会議室で行う。